

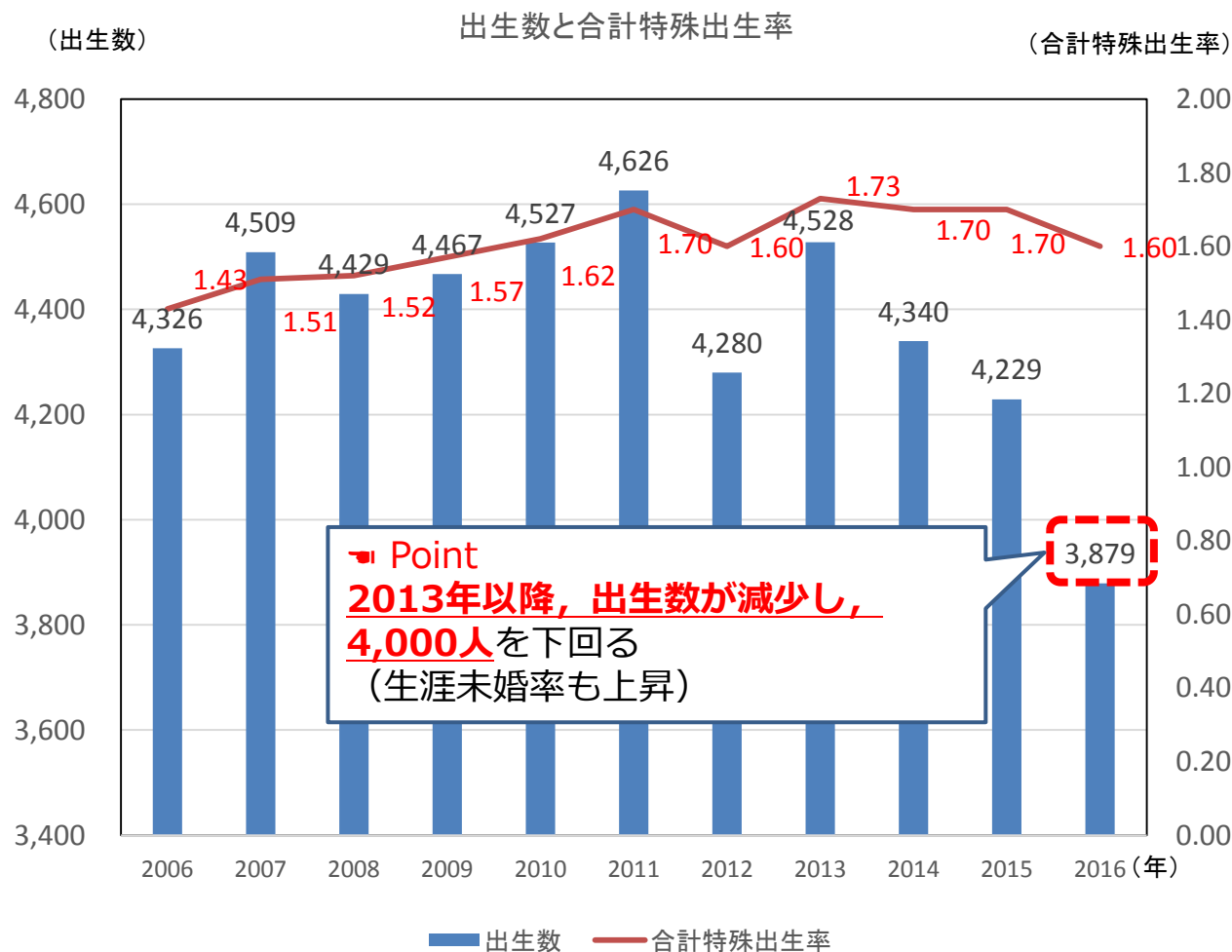
# 人口減少対策 関係資料

---

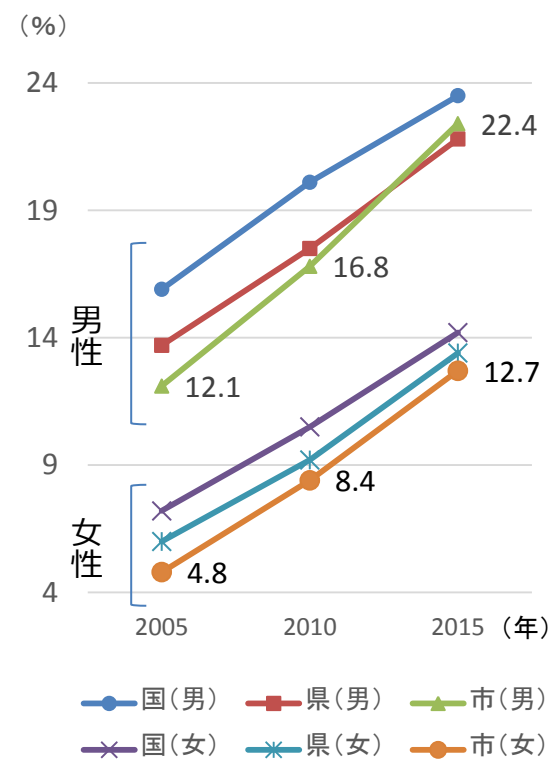
企画財政局企画政策部企画政策課

# 福山市における人口減少(自然増減)の状況

- 2016年の合計特殊出生率は1.60と下がったものの、高い水準をキープしている。
- 一方で、2016年の出生数は4,000人を下回り、平成の大合併後では最低となった。
- 男性女性ともに、生涯未婚率が大幅に上昇している。



生涯未婚率の推移

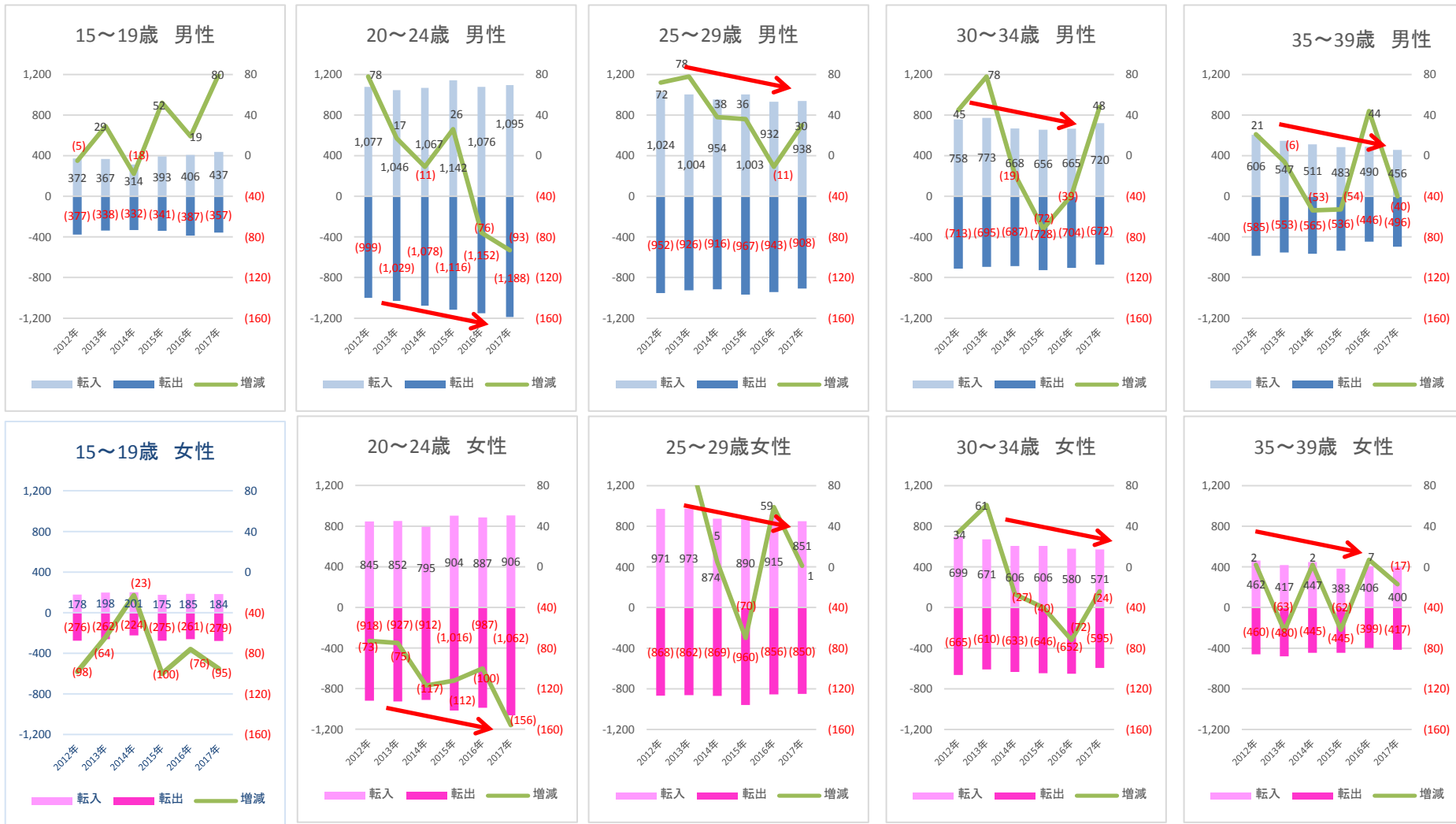


出所：総務省「国勢調査」から作成

出所：厚生労働省「人口動態調査(確定数)」から作成

# 福山市における人口減少(社会増減)の状況①

## ■5歳区分ごとの転出入の推移



### Point

- ・ 10代女性（女子高生）の転出超過が継続
- ・ 20代前半男女の転出数が増加傾向
- ・ 20代後半から30代は転入が減少傾向。外から呼び込む力が全体的に低下

# 福山市における人口減少(社会増減)の状況②

## ■市外転出の要因

※ 2017年1月～12月 市民課窓口での乙調査記載の13,436人のうち、15～39歳の9,522人の理由割合を基に推定。

年齢		性別		転入出理由											総数
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
		転入出		就職	転勤	転業転職	退職廃業	入学転校	通勤通学	結婚離婚	子育て環境	介護	住宅事情	その他	
15～19歳	男性	転入	190	41	2	6	77	4	12	2	8	10	85	437	
		転出	79	17	7	9	202	10	1	3	0	6	23	357	
	女性	転入	60	9	0	0	66	2	5	5	0	2	35	184	
		転出	36	27	0	3	157	12	12	4	0	1	27	279	
20～24歳	男性	転入	612	172	50	44	26	25	39	5	0	9	113	1,095	
		転出	667	178	67	28	70	13	31	1	1	18	113	1,188	
	女性	転入	405	110	62	19	26	10	97	12	0	14	151	906	
		転出	541	89	63	14	43	26	108	9	3	17	147	1,062	
25～29歳	男性	転入	212	356	121	37	4	12	85	4	10	8	91	938	
		転出	219	320	98	19	8	12	73	11	2	37	109	908	
	女性	転入	85	179	103	29	7	10	268	32	0	20	119	851	
		転出	118	186	83	22	7	13	251	16	5	41	108	850	
30～34歳	男性	転入	74	339	95	12	2	5	67	7	0	22	96	720	
		転出	60	309	79	5	6	12	58	13	1	49	80	672	
	女性	転入	26	89	34	11	4	7	227	15	7	18	133	571	
		転出	55	128	50	13	8	0	240	19	2	19	61	595	
35～39歳	男性	転入	22	239	69	9	7	2	22	9	4	20	53	456	
		転出	30	261	50	7	11	7	31	12	0	39	47	496	
	女性	転入	10	168	37	6	12	2	67	21	0	27	51	400	
		転出	18	168	19	5	7	9	73	23	5	30	61	417	
合計	男性	転入	1,110	1,146	336	109	115	48	225	27	22	70	438	3,646	
		転出	1,055	1,085	301	67	297	54	196	41	5	149	372	3,621	
	女性	転入	585	555	236	65	115	32	663	84	7	81	488	2,912	
		転出	769	598	214	56	222	60	684	71	14	109	405	3,203	

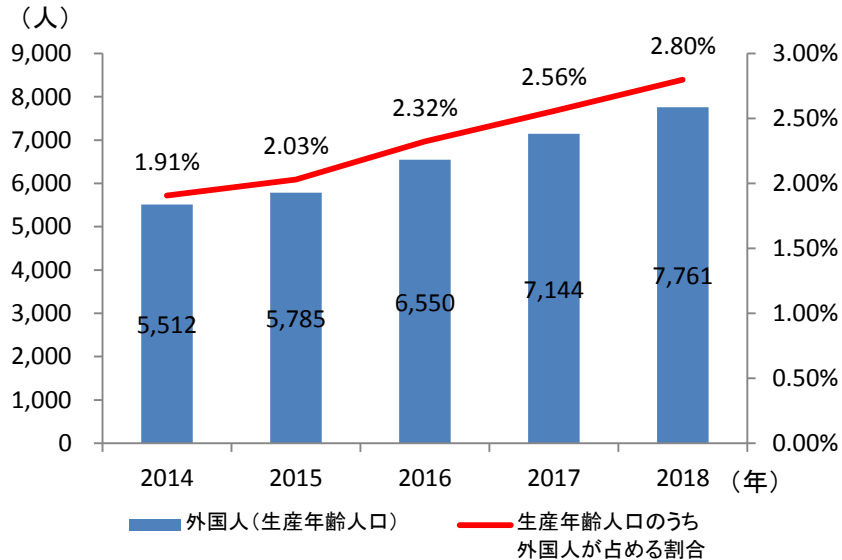
### Point

- ・20代～30代の転出理由として「仕事」に関するものが多い。
- ・また、女性では「結婚離婚」による転出が多い。

### Point

外国人の数、生産年齢人口に占める外国人の割合は年々増加

## ■外国人の増加状況

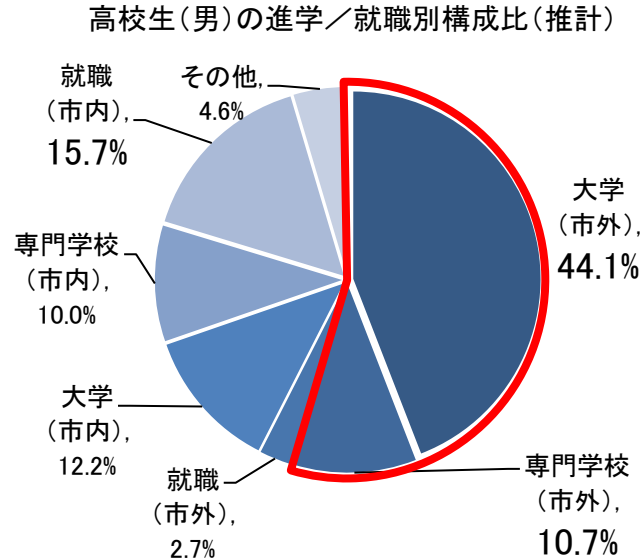


(資料)総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(各年1月1日現在)  
生産年齢人口は、15歳以上65歳未満。

# 福山市における人口減少(社会増減)の状況③

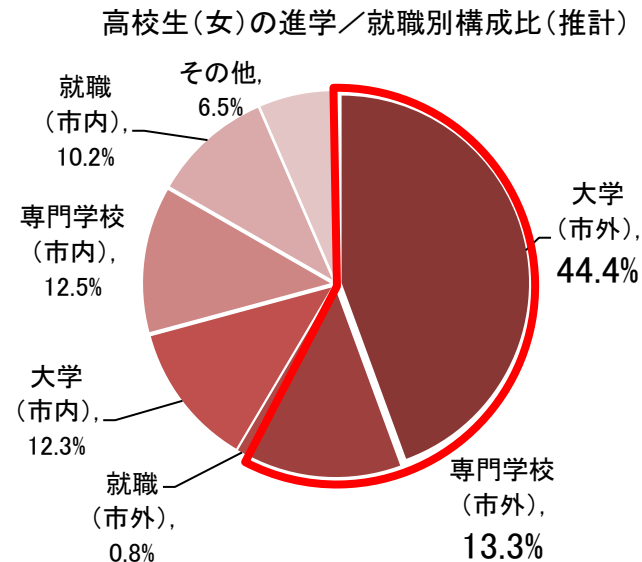
## ■ 市内高校生の進学／就職状況

※広島県学校基本調査、高校生進学先調査（福山市）を基に作成



**Point**

- ・ 高校生の約6割が市外へ進学
- ・ 約2割の男子高校生が就職。うち大半が市内企業

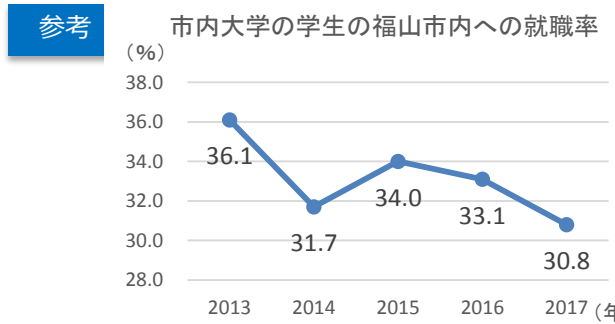
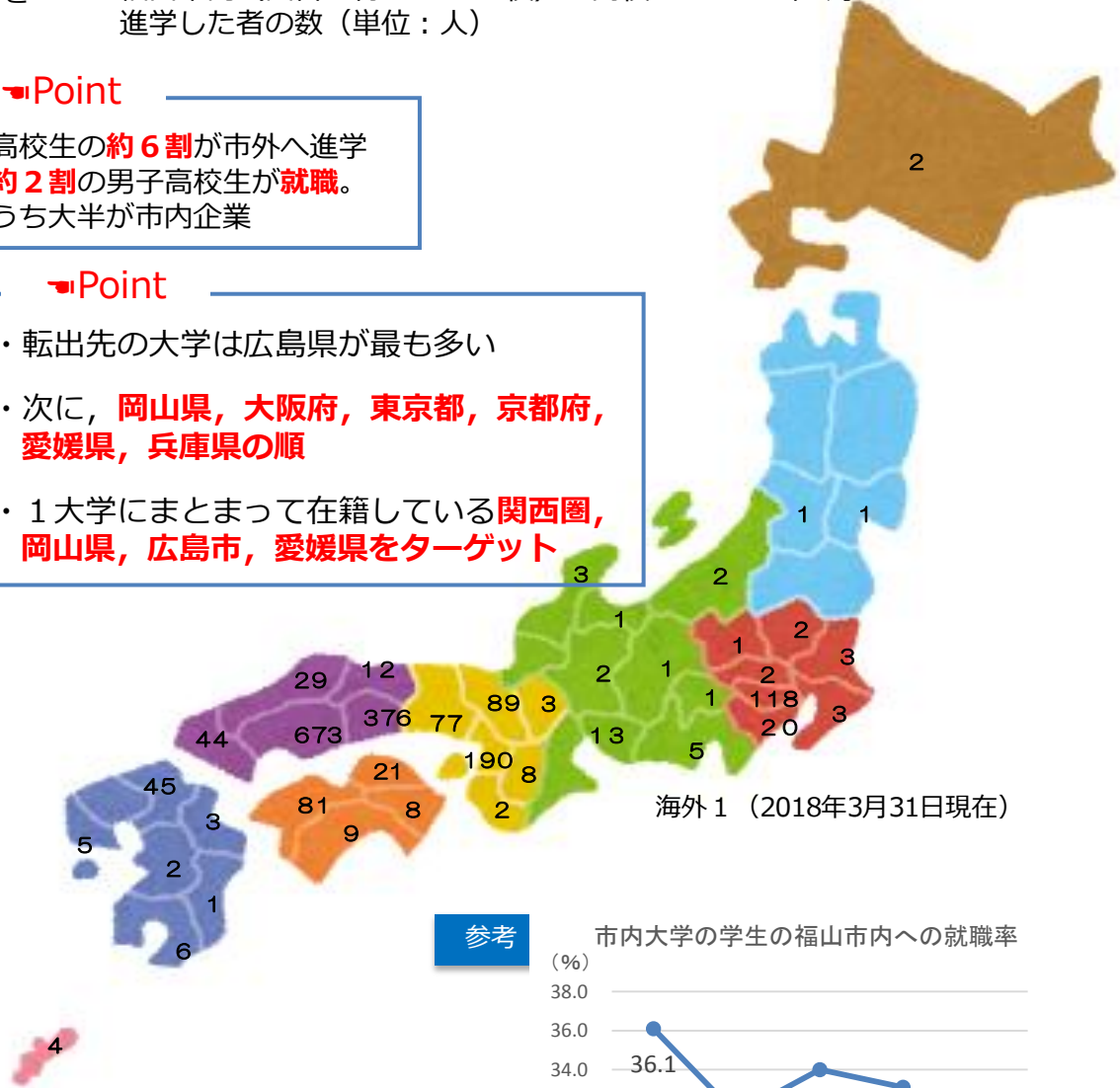


## ■ 県別の大学（短大除く）進学人数

※福山市内（回答を得られた21校）の高校から2017年4月に進学した者の数（単位：人）

**Point**

- ・ 転出先の大学は広島県が最も多い
- ・ 次に、岡山県、大阪府、東京都、京都府、愛媛県、兵庫県の順
- ・ 1大学にまとまって在籍している関西圏、岡山県、広島市、愛媛県をターゲット



## ライフスタイルの多様化

## 2040年に向けた目標

## 注力すべき課題

(強み・弱み、アンケート結果など)

生涯未婚率の上昇や働き方の多様化など、従来から生活スタイルが変化

従来

人生において就職、結婚、子育てがパッケージ化

現在

働き方や結婚・子育ての選択肢が広がり、標準的なものがなくなりつつある

【全員にスポットライトが当たる】  
多様なライフスタイルが実現できるまち

- 大学進学時の転出超過
  - ・ 高校生の約4割が市外大学に進学
  - ・ 大学の転出先は、岡山県、大阪府、東京都、京都府、愛媛県、兵庫県の順
  - ・ 男子高校生は、女子高校生に比べ市内就職の割合が高い
- 就職期における転出超過の継続
  - ・ 20代前半で転出が増加傾向、20代後半以降で外から呼び込む力が低下
  - ・ 就職したい業種や職種が地元でない
  - ・ 転出理由は「仕事、結婚・離婚」が多い
- 出生数の減少
  - ・ 2012年以降、自然減が継続
  - ・ 出生数が4,000人を下回る
  - ・ 合計特殊出生率は、一定の水準を保っているが、親となる世代が転出等により減少
  - ・ 10代～30代の若い女性の転出超過の継続
  - ・ 5割の女性が結婚や出産を機に退職
  - ・ ひとり親家庭のうち7割が生活困難層
- 移住のきっかけは「仕事」が多い
  - ・ 移住のきっかけになりえるものは、「定年退職・早期退職」「転職」の順
- 外国人の数、割合が近年増加
  - ・ 生産年齢人口に占める外国人の割合が年々増加